



### 館内では走らないで

ホテル内では走ったりはねたりされると、ころんでケガをする危険があるばかりか、下の階におられるお客様のごめいわくになります。



### 客室の電話は使用しないでください

お部屋の電話機からの外線通話は停止させていただいています。お家に連絡する時は、引率の方の許可をもらってから1階ロビーにある公衆電話をご利用ください。



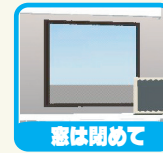
### かぎの閉め忘れにご注意ください

お部屋のかぎはオートロックではありません。みなさんのお家と同じように、お部屋の外からかぎ穴にかぎを差し込んでロックしてください。



### 客室テレビの有料放送は停止中です

お部屋にはテレビがあります。地上デジタル放送とNHK衛星放送はごらんいただけますが、有料放送の受信は停止しています。



### 窓は閉めたままで

危険防止のため、火事などの非常時以外は窓を開けないでください。お部屋の換気はエアコンで行ってください。(裏面をごらんください)



### スリッパはお部屋の中だけで

お部屋のスリッパはお部屋の中だけでご利用ください。ロビーや食事会場へのスリッパばきはお断りしております。(ゆかた、パジャマもお部屋の中だけ利用)

## ユニットバスの使い方

ホテルのバスルームはみなさんのお家のものとは少しちがっており、お風呂と洗面台、トイレが一部屋にまとまっています。つぎに書いてある使い方をよく読んで、安全にご利用くださいね。

1



バスルームの入口には20cmほどの段差があります。つまづかないようご注意ください。バスマットはバスルームのゆかにしいてください。洗面台の上にあるボトルは、リンスインシャンプー、ボディソープ、洗顔・ハンドソープの3本です。(左下の写真)



また、洗面台の横のタオルかけにはフェイスタオル、上のたなにはバスタオルがあります。タオルやソープなどは、使いやすいところに置き直してください。



たなのバスタオル

2



先に水を出す



お湯つまみはじょじょに開く

バスタブ(ゆぶね)にお湯をためる時は、まず、排水口にせんをします。右側のじゃ口に付いている青いつまみを、左に少しひねって水を出してください。次に左側のじゃ口の赤いつまみをひねってお湯を出します。この時、いっぺんに全開にしないでください。少しずつ開いてゆき、水流を手で触ってちょうど良い水温になるよう調整しましょう。バスタブの4分の3ぐらいお湯がたまったら止めてください。

3

お湯がたまったらバスタブに入りましょう。このお風呂には洗い場はありません。体を洗うのも、バスタブの中でお願ひします。



シャワーカーテンは内側に

体を洗う時は、お湯がバスタブの外に飛び散らないようにするため、シャワーカーテン(ビニール製)を引きます。この時カーテンのすそはバスタブの内側にたらししてください。

4



シャワー切りかえつまみ



シャワーを使う時は、じゃ口まん中の切りかえつまみを回して「シャワー」にセットします。

②の時と同じように先に「水」を少し出してから「お湯」を少しずつ出してゆき、ちょうど良い水温にしてからご利用ください。

お風呂から出る時は、バスタブのせんをぬいて、お湯を捨ててください。

また、次の人が気持ちよく使えるように、バスタブに付いたせっけんの泡や髪の毛などは、シャワーで水をかけて流しておきましょう。



バスルームのドア  
給湯中は閉める

使用中はもちろん、お風呂にお湯を入れる時もバスルームのドアは閉めてください。開けたままですと、お部屋の天井に付いている火災検知器が、お風呂のゆげを火事とまちかえ、非常ベルが鳴ってしまいます。



熱湯に注意



熱湯に注意

### 熱湯に注意してください

お部屋内の電気ポットやお湯のじゃ口からは熱湯がでます。やけどにはじゅうぶんご注意ください。